

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんにちは。梅雨の季節です。腰痛や神経痛が気になりますね。くれぐれもご自愛ください。

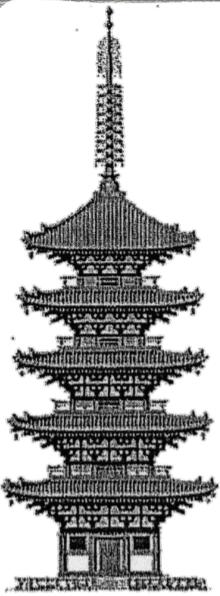
今年**実録・覚王山日泰寺縁起**をお伝えしているかわら版。世界的に**本物と認められている仏舍利(お釈迦さまのご真骨)**がなぜ日泰寺に祀られたのか。その歴史を採訪しています。

★ワット・サケット

大谷光演(句仏上人)を正使とする日本からの**仏舍利奉迎使節団**がバンコクに到着したのは、**一九〇〇年(明治三十三年)六月十一日**夕刻。**十二日と十三日**、奉迎使節団は旅装を解き、バンコク市内を見学するとともに、**チュラロンコン国王**に拝謁する準備を進めました。

記録には、タイ文科省の役人**ルアングバイサル**の案内で**ワット・ボウオニベー**という寺院を見学したと記されています。

使節団の興味を引いたのは、境内



に設置されている**パーリ語**の語学学校。タイで僧になるには**パーリ語**の学習が必須と聞かされました。

インドで生まれた**仏教**。シルクロードを経由して中国に伝わった**仏典**は**サンスクリット語**、スリランカ、インド洋を経由して東南アジアに伝わった**仏典**は**パーリ語**で書かれています。前者は**北伝仏教**、後者は**南伝仏教**です。

仏典を原語で読むことを推奨するタイの**仏教教育**の熱心さに驚いたそうです。

日本に伝わったのは**北伝仏教**。サンスクリット語からシルクロードの言葉に訳され、さらに中国語に訳されて日本に伝わりました。使節団はサンスクリット語で**仏典**を読むことの必要性を感じたのかもしれないね。

十四日、再び文科省の役人の案内で古刹**ワット・スドゥース**に続いて、高名な**ワット・サケット**を訪問。

ワット・サケットは建物だけでも六百三十棟を擁する大寺院。高さ三十メートル、周囲二百七十メートルで、**ゴールテンヒル(黄金の丘)**と呼ばれる高さ五十メートルの丘の上にあります。その最も高台にある**仏塔**に、前年、インド(英国政府)から寄贈された**仏舍利**が奉安されていました。

★ワット・ポー

ワット・サケット見学中に、急遽、**チュラロンコン国王**からお召しがあり、**稲垣満次郎駐タイ公使**と**大谷光演**正使ほか一行は宮殿に参内。国王から**仏舍利分骨**の示達があり、翌日、贈与の式典が行われることとなりました。

十五日、奉迎使節団は三度(みたび)文科省の役人の案内で今度は**大寺ワット・アルン**を見学。そして**ワット・ポー**に向かいました。

ワット・ポーは「**菩提の寺**」という意味。王室寺院であり、巨大な黄金の涅槃仏があることから「**涅槃寺**」とも呼ばれています。

ワット・ポーはバンコクで最大、最古の寺院。現在まで続く**チャクリー王朝**が一七八二年に始まって以来、ワット・ポーは王族の庇護の下で発展してきました。

記録によれば、式典では王室勅使が式辞を読み、正使**大谷光演師**が答



「菩提の寺」ワット・ポー

辞を朗読。

読経、三帰依文の黙誦三拝の後、王室勅使が奉迎正使に**仏舍利**の入った**小黄金塔**を授与。

大谷正使は**小黄金塔**を日本から持参した**宝珠形仏塔**の中に納め、さらに**金欄の囊**に入れたうえで**二重の桐箱**に奉納。仏舍利授与の式典は無事に終了しました。

★大小二仏(結跏趺坐像)

十六日は宮殿内、**十七日**は古都アユタヤを見学した使節団。

帰国前日の**十八日**、チュラロンコン国王は奉迎使節団を王宮に招聘。奉迎使節団は帰国後に超宗派の**仏舍利奉安寺院**を建立することを約束しました。

満足した国王は、チェンマイの北にある古代タイ国の都で千年以上前に鑄造されたタイの国宝である**大小二仏(結跏趺坐像)**を下賜。大きな**仏像**は**仏舍利奉安場所**に安置することを希望し、小さな**仏像**は大谷正使に贈られました。また、**サオパウィー・ポンシー王妃**の三歳写経も寄贈されました。

さらに、寺院建立に当たってはタイ国王及び王族から木材を寄贈することを約束されました。

★長崎皓台寺(こうたいじ)

六月十九日、奉迎使節団は帰国の途につきま。そして、**七月十一日**に長崎に到着し、**長崎三大寺**のひとつ、**皓台寺**に奉安されます。来月は長崎上陸から京都奉安までの道中です。乞ご期待。

